



地域と大学がつながるサテライトってどんなところ？

第3回 岸和田サテライトと地域の人々 友の会の活動

西田 喜一

前回で、岸和田サテライトがどのような事業を実施しているのか、なんとなくお伝えできたと思います。

では、サテライトであったり、地域連携であったり、それはいったいどういうものであると皆さんは考えられますか？私自身、サテライトとは何か？地域連携って何のためにするのか？そんな自問自答を繰り返し、悩みながら日々の仕事を進めています。

岸和田サテライトは大学の機関ですが、一般的な大学とは少しイメージが違います。主な利用者は、10～20代の学生もいますが、その多くは、地域の人たちです。つまり、岸和田サテライトの場合は、「地域の人たちが集まってこそそのサテライト」であるということがいえると思います。これは、私の先輩コーディネーターたちが、岸和田市とともに、地域の皆さんとつながり、共に学び・交流する場となるサテライトをつくってほしいと、時間をかけて積み上げてきたものがあるからこそだと思います。また、それは日々の仕事の中で、地域の人と交流する中で実感していることでもあります。

そのような学習・交流の場ができたことで、このサテライトに集い、学ぶ人たちが同窓会組織「友の会」を立ち上げ、活動しています。

当初は、友の会の活動としては、年2回（夏・冬）行われる講演会がメインでした。しかし、この5年ほどの間に、少しずつその活動内容にも変化が出てきました。

きっかけは、岸和田サテライトでの防災に関する講座や授業、そして、2011年3月11日に起きた東日本大震災によって、防災についての関心を持つ人が友の会の中で多く、それについて学ぼうという動きが出てきたことだと私は思っています。

和歌山大学には、防災に関する研究や社会的活動を進める機関があり、その分野の教員と友の会をコーディネーターがつなぎ、防災について学ぶ講演会・講座をプロデュースすることが、友の会の人たちの地域防災を考えるきっかけになりました。

次回以降のコラムを通じて、友の会が防災をテーマに、和歌山大学との連携をはじめ、地域の様々な人・団体と連携し、地域に活動の場を広げていく様子とそこにコーディネーターがどう関与しているのか（少し、大学の教員と友の会をつないでいることは伝わったと思います）お話ししたいと思います。

<にしだ・よしかず / 和歌山大学 岸和田サテライト
地域連携コーディネーター>

第98回 わだい浪切サロン

和歌山大学・岸和田市地域連携事業

スポーツツーリズムと 関西ワールドマスタースゲームズ

話題提供者 伊藤 央二（観光学部 講師）

日時

2017年 12月20日 水 19:00～20:30

場所

岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

関西ワールドマスタースゲームズは唯一の参加型スポーツイベントとなっており、岸和田市でも自転車のBMX競技大会が開催されます。関西ワールドマスタースゲームズを事例にスポーツツーリズムについて紹介したいと思います。

わだい浪切サロンとは？

毎月第3水曜日（2月と8月を除く）の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催するmini和歌山大学です。**申込み不要、参加費無料。**

お問合せ先：和歌山大学岸和田サテライト 〒596-0014 岸和田市港緑町1-1 浪切ホール2F

TEL & FAX：072-433-0875

岸和田サテライト

検索